

浄土真宗本願寺派 西光寺寺報

「無明長夜の灯炬なり」

慈光照護のもと、門信徒の皆様にはますます
すご清祥のことと慶賀に存じます。

立春をとうに過ぎたのに、まだまだ寒い日が続きます。我が家でも、私（若院）は少しでもエコ生活をしようと、昨冬より冬の生活の拠点を4畳間に移しました。ここだとファンヒーターを点けるとすぐに暖かくなります。おかげさまで灯油の消費も少なくなりました。しかし、もつとエコ生活なのは、家族がみんな一部屋で過ごすことです。この数十年で家族のありようは根底から変わってしまった。現在では家がホテル化していると言われます。それぞれ自分の部屋で冷暖房をして、自分のテレビを見て過ごす様は、ホテルと何も変わりません。食事さえも時間も合わずに家族がばらばらにとすることが多くなっています。これは実際に聞いた話ですが、私の知り合いのお父さんは、2階の自分の部屋から、1階にいるお母さんに「お茶」と携帯電話でメールするそう

春の彼岸会にお参りください。
3月18日（木）午後2時より

です。すると、お母さんがお茶を2階に持って行くんだそうですよ。また、あるお父さんは、「思春期の娘とは面と向かって真剣な話ができないが、メールでなら本心を伝えることができる」と言っています。娘さんも同じ気持ちなんだそうです。これなら、別に同じ家に住んでいなくてもいいのではないのでしょうか。たとえ貧しくても、家族が笑顔で集うことのできた時代は、もう戻らないのでしょうか。もう一度、家族がひとつの炬燵に
はいって、みかんを食べる幸せを味わえないものでしょうか。

現代は物があふれ、一見豊かで便利な生活ができてるように思えます。でも、実際は一番身近な家族の存在さえ、真実の姿が見えていないのではないのでしょうか。私たちにあらゆるものの真実の姿が見えていないことを無明と言います。宗祖親鸞聖人は、迷いの中に生きている私たちがお念仏をいただくことを、まるで真つ暗な長い夜の中で出会う『灯炬』とおっしゃってくださいます。「常のともしびを弥陀の本願にたとへまうすなり。常のともしびを灯といふ。大きな

ともしびを炬といふ」と、南無阿弥陀仏の撰取不捨（おさめとつて必ず捨てない）のおはたらきを、消えることのない大きな光にたとえて下さっています。ですから、お念仏に遇わせていただく喜びは、まるで家族がひとつの炬燵に入って暖まるようなものなんでしょうか。炬燵に入っていると、安心して寝てしまおうじゃないですか。南無阿弥陀仏のお喚び声は、如来様の「そのまま来いよ」と、無明の闇に生きる私たちをそのまま引き受けて下さることですから、まるで炬燵のよう
かく安心と味わせていただいています。

無明長夜の灯炬なり

智眼くらしとかなしむな

生死大海の船筏なり

罪障おもしとなげかざれ

（正像末和讃）

智眼……智慧の眼（真実を見る眼）

生死……迷い 船筏……弥陀の願をふ

ね、いかだにたとへたるなり

「春の彼岸会のご案内」

日	10時〜	14時〜	19時〜
18日 (木)	逮夜 仏説 観無量寿經 法話二席		

福井市崇敬寺若院
本願寺派布教使
うりゆう

瓜生 順法師です。

昨年から春の彼岸会ひがんえの法要を勤めさせて
いただいております。お昼の一座だけで
が、どうぞお誘い合わせの上お参りくださ
い。春分の日には真東から太陽が昇って真
西に沈みます。西方にあるというお浄土じょうどを
思い、阿弥陀如来あみだにょらいからたまわるお慈悲じひをよろ
こばせていただく日としたいものです。昨
年は日曜に開催しましたが、連休で都合が悪
いという方も多かったので、平日にしまし
た。なお、ご法話には私(西光寺若院)が京
都の住職課程で一緒にさせていただきました。瓜
生先生に初めてお越しいただきます。現在
32歳の若手布教使です。(こんなことをあま
り書きたくはありませんが)昨年のお参りは
4人でしたので、ご講師に失礼のありません
よう、たくさんのご参詣をお願いいたしま
す。

「上出純宏さんを応援します」



西光寺門徒の上出
純宏さん(三国町神
明三丁目)が、今春
行われます坂井市
議会議員の選挙に
立候補を予定され

ています。上出さんは三国高校・大阪市立大
学をご卒業後、長らく三国町の職員として、
龍翔館やみくに文化未来館の設立に関わら
れました。龍翔館の館長も勤められるなど、
文化面の活動にたいへん活躍されています。
私(若院)の芝居にも毎回足を運んで下さっ
ています。坂井市の豊かさを高めるために
も、上出さんを市議会に送り出しましょう。
門信徒の皆様にもご協力をよろしく願ひ
します。

(坂井市の門信徒の皆様には後援会のご案内
を同封させていただきました。ご支援のほ
どよろしくお願いいたします。)

「吉崎別院親鸞聖人

750回大遠忌法要について」

門信徒の皆様にご多大なご寄付をいただき
まして、おかげさまでこのたび大遠忌法要が
下記のごとく盛大に厳修されます。ご門主
様ご親修のもとに行われますので、めったに

ないこのご勝縁に、ぜひとも皆様にお会い
いただきたいと思ひます。

記

期日 平成22年5月9日(日)
時間 ■午前10時より
◎阪北・円陵・江南3組合同法要
■午後2時より
◎本願寺吉崎別院
親鸞聖人750回大遠忌法要
並びに 別院修復慶讃法要

※お参りされましたときに金3千円以上の
ご懇志をされた方には、お弁当引換券がいた
だけるそうです。

※お稚児さんを募集しています。希望され
る方はお早めにお寺までご連絡ください。
※お参りしたいという希望の方は、お寺まで
ご連絡ください。

「編集後記」

彼岸会のご案内もありましたので、もつと
早くに発行しようと思つていたのに、ギリギ
リになってしまいました。すみません。ご
親戚や別世帯にも寺報をお送りしますので、
お気軽にお寺までおっしゃってください。

合掌